

かねだ勝年後援会

**勝永会セミナー開催** ～ ホテル ニューオータニ ～

通常国会会期末の6月15日(火)、東京ホテルニューオータニで、恒例の昼食勉強会が開催されました。講師として、かねだ勝年と同年で大切な友人であり、政治ジャーナリストで元共同通信編集局長・政治部長の後藤謙次先生をお迎えし、「参院選とその後の政局」と題してご講演を頂きました。

特別ゲストは、自民党幹事長 大島理森先生。参議院選挙が目前に迫り、現下の揺れる政局の中で、タイムリーなテーマと内容の大変充実したセミナーとなりました。

**後藤 謙次 先生のご講演**

金田先生とは同年同期、まさに同世代を生きた一人。このセミナーの過去の講師の中に、「竹下登」という名前がありました。私は竹下登氏から非常に懇意にして頂き、その竹下先生がかつて大蔵省にいた金田先生を随分かわいがっておられました。その後政治の世界を目指すということになって、全力で応援されていたのを今でも思い出しております。

私は、TBSの番組(THE NEWS)が3月いっぱいまで終わりフリーになりました。そして、最初に声をかけて下さったのが金田先生でありました。

鳩山さんは、支持率が20%を下回ったために退陣という事態を生みましたが、最近の例では89年。昭和から平成に代わった年で、リクルート事件があり、竹下登さんが4月1日に消費税を導入する年。当時の竹下内閣の3月段階の支持率は4.4%。竹下さんは、4月25日の予算成立と引き換えに退陣し、後継者に宇野外務大臣を指名しました。その宇野さんは就任直後に女性問題が浮上、土井社会党委員長のマドンナ旋風と米の自由化問題という農業問題もあり、選挙演説が出来ずじまいのまま自民党は大敗し、過半数割れ。その後一度も単独過半数を回復することなく今日に至ります。2001年にも、森政権は非常に支持率が低下し、その後に誕生したのが小泉政権。小泉さんは、田中真紀子さんを外務大臣に起用し、小泉・真紀子劇場で参議院選挙を圧勝しました。参議院選挙は、衆議院選挙のように、時の権力者の意思、政府側にとって有利な時期に選挙を選べるということがなく、この選べない時期をどう迎えるかということで、今回も鳩山さんから菅さんに政権を代えて、その急場を凌ごうということだったと思います。

定数2人以上の複数区18。この選挙区は概ね民主党と自民党が分ける選挙区。勝敗の分かれ目は、29ある1人区でどれだけ勝利を収めることができるか。菅さん自身が、敵失を頼みにする、つまり自分たちではあまり球を投げないで、無難な選挙をやろうという構えになっているので、今後この展開はどうなっていくのか。さらに、この参院選で与党が過半数を得るかどうか、これは今後の政治の行方について非常に大きい。今度の選挙は、昨年8月31日の政権交代をチャラにするのか、それとも、この政権の形を今後も続けていくのか、そういう有権者の意思表示。野党が過半数を確保し、参議院に厳しいチェック機能を与えて政権の暴走を許さない。そうすれば自ずと衆参ねじれ状況が生まれ、次の総選挙の時期が早まってきます。ところが、民主党与党側が単独過半数を維持するということになれば、おそらくここから先3年間、国民世論はいわゆる1票を行使する機会を失う可能性があります、そこが今度の選挙の最大の位置づけではないかと思えます。

自民党は、この選挙を機会に金田先生を軸にした5回生を中心にした若い政党に生まれ変わらなければいけません。イギリスではデビッド・キャメロンが39歳で党首になり、43歳で首相になりました。この窮地であればこそ、人材を発掘して、従来のシステムを変えて新たな躍動感のある政党として国民に見せられるかどうかです。 (議事録より抜粋)



今回も、多くの皆様にご参加頂きました。



## 自民党幹事長 大島 理森 先生より激励のご挨拶

秋田で参議院議員として、そして衆議院に立候補して、歯をくいしばって昨年のあの厳しい選挙を勝ち抜いてきた金田先生。今の自民党に必要なのは、この勇気と突進力。今後、中堅の大きな力として、日本政治の柱になってほしい。政策はできるし、この戦う迫力。浪人中もまれてきて忍耐力もある。

今の政権は約束は守らない、逃げる、悪いことは隠す。そして、支持率が高いうちに選挙をやっつけてしまえという姿勢は、まさに民主主義の危機そのもの。まともな議会政治、まともな民主主義の健全性を取り戻さなければいけない。



## かねだ勝年よりご挨拶

参議院議員として12年。そして昨年の8月、皆様からお力を頂いてまた働けるようにして頂いたお陰で、衆議院当選5回生として扱って頂いております。

昨年の政権交代。自民党も大いに反省し、これから自民党をどう変えていくかだけではなく、今の政権が何を目指しているのか、そして、これからどのように政治全体が変わっていかなければならないかという非常に難しい状況にあります。

そういう反省の思いを持って頑張っていかなければいけないという覚悟を持っています。

今の与党の政治運営・国会運営は非常に強権的で、一切野党の言うことに対して聞く耳をもっていません。菅政権ができて、新内閣が今考えていること、やろうとすること、経済戦略の考え方、何一つ具体的に議論することができていません。政党を超えて、国民に対し説明責任を果たしていくと努力を重ねていかなければいけません。

V字型に支持率が回復した途端、質問も議論もさせない、すぐに国会を閉じて選挙で信を問えばいいという考え方は、すべてが選挙対策になっている、今の与党の最大の欠点。そういうことをやっていては、日本の将来の先行きは見えません。

今度の参議院選挙、参議院が本来のチェック機関としてその機能を発揮させるために、何としても今の政権与党に多数を渡すわけにはいきません。

## 7.11 参議院選挙 ～ 秋田選挙区は 石井 ひろお 候補圧勝！ ～

セミナーの後、一気に選挙になだれ込み、講演録の作成が遅くなってしまいましたが、お陰様でかねだ勝年が全力で応援した秋田選挙区の石井ひろお候補(自民党公認)は、勝利を勝ち取ることができました。

ご承知のとおり、一人区の風は自民党に吹き、全国的に見ると29のうち21選挙区で自民党が勝利しました。我々はこの結果を真剣に受け止めて、責任政党・責任野党の在り方を謙虚に考えていく時に来ていると思います。

夏から秋の政局はいよいよ流動的。かねだ勝年も身を引き締めて日本の将来のためにどうあるべきかの議論に挑んでいきたいと意気込んでいます。

## 新議員会館のご案内

この度、新議員会館の竣工に伴い、下記に引っ越しました。  
お近くにお越しの際は、是非お立ち寄り下さい。

〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館1009号室

電話 03-3508-7053(直通) 03-3581-5111(代表) 内線71009 FAX 03-3508-8815

\* 部屋番号のみ変わりました。

